

館報

おおくま

主な内容紹介

- 2面—教育行政重点施策 指定通学路
- 3面—先生紹介 スクールバスの運行
- 4面—熊町婦人会結成 青年学級学習
- 5面—スポーツ傷害保険 学級生募集
- 6面—民俗資料の収集 民話
- 7—8面—みんなのひろば

発行編集 大熊町公民館
印刷所 平加納活版所



じゆず 数珠くり

延命地藏は難病をなおしてくれる仏として、また息災延命、蘇生力をもつ仏として長く信仰されてきた。そして延命地藏のまつりの日を中心にこのジュズクリが受けつがれてきた。地元では、お念仏とか、十三仏などといったが、長さ三十二尺(約十米)のひもに千個の平たい数珠玉を通した数珠を法眼(ホウガン)のたたく鉦につれて念仏や和讃を唱えながら回し、法眼とならんですわったもう一人のお年寄が一回・二回……と数える。終ってから数珠で肩をたたくとさらに霊験があらたかだという。

熊町延命地藏(はなどり地藏)の数珠くり

延命地藏の祭りに当り3月5日(旧2月23日)

86才の老婆を含めて部落民25人で行われた

昭和五十年 大熊町教育行政の重点施策について

質の向上と発想の転換かん

基本指向

昭和五十年の大熊町教育行政は、日本国憲法と教育基本法の根本精神をふまえながら、激動する現在の社会と、当面する地域の課題を考へて「豊かな人間形成をめざす生涯教育」をモットーとして、次の三つの中心課題の達成に目標をおく。

- 一、教育の質の向上
- 二、豊かな人間性回復の教育
- 三、生涯教育の立場からの社会教育の推進

学校教育関係

学校教育面では、引き続き、統合中学校の速急な整備特に屋体の建築、校庭の整備通学路の整備等に重点をおくとともに、各校の特色を考へて、学力の実質的な向上のための環境整備に力をそぐ。

- 教職員の適正な配置と、教育成果の自己評価、職場評価を推進し、併せて研修機会と研修費の増をはかる
- 教職員の研究時間を抽出するために、異職の事務職員及び養護教員の増員をはかり、町費派遣職員とあいまって教職員の事務軽減をす

すめる。

- 特殊教育を重視し、児童生徒各人の特性に応ずる可能性発揮の途をこうする。
- 交通事故と火災防止の万全を期する。

このため移動式交通教育用具を準備する。

幼児教育関係

教育の質的向上のため、幼児教育が大切なので、幼稚園に二学級を増設し、一方幼児の父兄を対象とする家庭教育学級を開設する。

社会教育関係

発想の転換により時勢に応ずる生涯教育を推し進める、これがため

- 常勤専任の館長を配置して社会教育関係職員を充実する。

- 地域文化がたちおこれているので、文化団体の育成をはかり、異文化センター所蔵文化財の町内展示をはかるとともに、旧公民館を利用して民俗資料館をつくる
- 昭和三十八年三月十八日以来名実ともに解体した熊町婦人会を再編強化して、将

来大野婦人会との合体による大熊町婦人会として一体化の糸ぐちをつくる。

社会体育関係

体育施設がちくじ整備の途についたので、指導者の養成生涯体育の促進、スポーツ傷害保険への加入促進、自然公園、自然歩道、海水浴場、キャンプ場の整備をはかり、体

小中校指定通学路が 決まりました

今年四月から。小中学校の指定通学路を設定するため、教育委員会と各学校とで検討した結果、下図のように決まりました。

- 三角屋—佐山沢—中学校南側入口。
- 熊町方面の生徒 行津—佐山沢—中学校南側入口。
- 松の下、落合方面の生徒 中島時計店—十字路—佐山沢—南側入口。
- 大川原、清水方面の生徒 大八魚店—焼山—北側入口。
- 野上、北向方面の生徒 焼山—北側入口。

育協会の本質的な強化とあいまって体育立町の一層の向上をはかる。

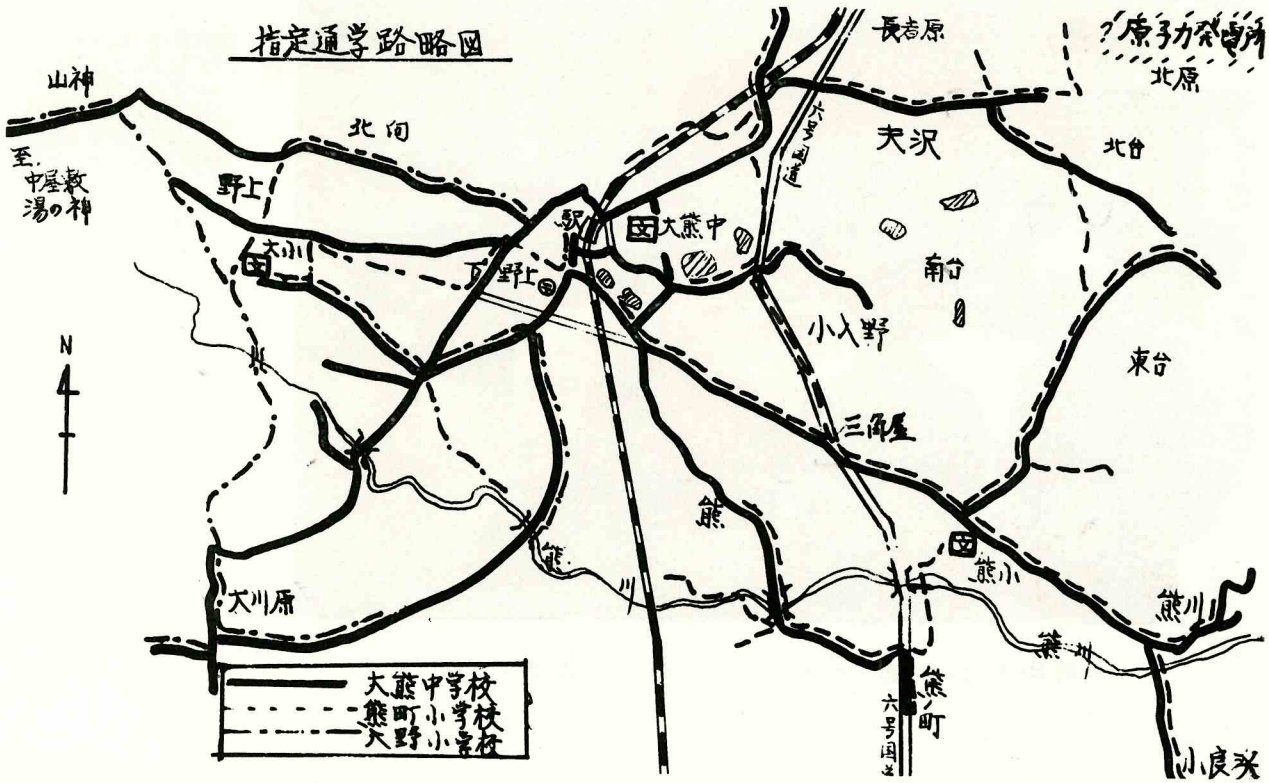
新生活運動の推進

じんあい処理、公害防止、交通事故防止、自然保護等を重視する一方、各部落で進めている生活簡素化実践活動の拡大普及につとめる。

広域社会教育の推進

双葉地方公民館連絡協議会、社会教育委員連絡協議会、公民館運営審議会委員連絡協議会の順調な活動を推進して、郡内社会教育の連けいした振興をはかる。

指定通学路略図



熊町婦人会結成

会長に志賀トリさん



これまで熊町婦人は、会員相互の教養の向上と親睦を図ることをねらいとして活発な活動を展開してまいりましたが、ここ二三年程活動が停止した。しかし、その間町内有

去る三月九日大熊町公民館に

識者初め多数のご婦人方から再三にわたる再編成の強い要望があり、この程公民館並びに社会教育関係委員長が助言者となり、各部落の代表者による熊町婦人会再編成準備委員会を組織し、数回にわたって打合せを重ねて参りました。又各部落においても懇談会を持つなど再編成へと大きく動き出したのです。

尚総会終了後、「婦人会活動の意義と役割について」と題し相双教育事務所の小丸先生より講話があり、婦人会の必要性を強く感じさせられました。

この使命を果してこそ家族から信頼され、社会から尊敬される主婦になるものと思ひます。この研修会で得られた知識を基礎として更に諸先生方の教訓をいかし今後の課題にとりくむ考えです。

又今後このような研修会がある事と思ひますが、その際は一人でも多くの婦人を参加させ、リーダーの養成を図ることに、秩序ある社会と明るく豊かな住みよい郷土づくりの実現が期待できるのではないでしょうか。

ボランティア活動と云う本を読んだ中に福沢諭吉先生の幸福論が書いてありました。人生において

総会では新しい規約と事業計画を決定し、さらに役員を選任、立派な熊町婦人会(会員一七〇名)が誕生いたしました。

- 道徳心の高揚
- 自然環境の保全
- 生活公害の追放

役員

- 会長 志賀トリ(町区)
- 副会長 山田秀子(天二)
- 書記 泉博子(熊二)
- 書記 松永久子(熊川)
- 会計 木村容子(町区)
- 監事 西弥生(熊川)
- 志賀恒子(天二)



婦人会の総会における小丸先生の講話

婦人指導者研修会に学ぶ

井戸川 郁子(大川原一)

県教育委員会主催による昭和四十九年度婦人指導者研修会が国立警備青年の家を主会場として前後期、中間、事後研修と四期に分けて行われ、県内から百名の研修生が参加し、私もその一員として受講させていただきました。

テーマは「地域社会での主婦としてのボランティア活動と今後の課題について」で、たが多数の講師の講話に感

銘し、私の人生さえ変わるのではなにかと思われる程有意義な研修会でした。特に戦後の社会教育の在り方と私達主婦としてのボランティア活動の中で役割と使命の重大さを痛感いたしました。

私達主婦は家庭、生涯、地域、教育の四つの重要な役割を合理的に調整できなければならぬ使命がある事だと思

います。この使命を果してこそ家族から信頼され、社会から尊敬される主婦になるものと思ひます。この研修会で得られた知識を基礎として更に諸先生方の教訓をいかし今後の課題にとりくむ考えです。

又今後このような研修会がある事と思ひますが、その際は一人でも多くの婦人を参加させ、リーダーの養成を図ることに、秩序ある社会と明るく豊かな住みよい郷土づくりの実現が期待できるのではないでしょうか。

ボランティア活動と云う本を読んだ中に福沢諭吉先生の幸福論が書いてありました。人生において

一番楽しい事は、一生涯を貫く仕事である。

一番淋しい事は、することがないことである。

一番はじめな事は、人間としての教養がないことである

一番みにくい事は、他人の生活をつらやむことである

一番尊いことは、奉仕して恩にきせぬことである。

一番美しい事は、すべてのものに愛情をもつことである

一番悲しい事は、うそをつくことである。

一番素晴らしいことは、感謝の念を忘れぬことである。

この福沢諭吉先生の教訓を

誰もが実行できるならば素晴らしいと思ひます。又ボランティア活動とはこの事だと思ひます。

(ボランティアとは社会事業の篤志奉仕者のことをいいます)

定期的学習をする

青年学級生

一般教養とレク活動を通し中広い視野のもった健全な青年にならうをスローガンに、

年令二十四才までの青年男女を対象に開設した大熊町青年学級は、年間白時間の学習課

程をふみつつ、その目的へと一歩一歩前進しており、去る一月二十四日には県教育庁からみどり号の訪問があり、ボランティアへの道と題しフィルムフォーラムが行われた。

当日は県社会教育課から神野藤吉先生がおいでになりフィルムフォーラムを通じた討議方法を実際に指導していただき学習の中にも工夫によって楽しいひと時を過ごすことができると、参加した青年達はファイトを燃やしていた



グループ討議をする学級生と

指導に当る神野藤先生

スポーツ傷害保険

スポーツシーズンです

加入しましょう

この保険は、スポーツ安全協会傘下のスポーツ団体および社会教育団体のうち、責任者を置きかつ団体が明確に把握されている十名以上の団体を対象とするものであり、スポーツ活動もしくは社会教育活動中に生じた事故等によって傷害を被った場合、これを補償するためにできた救済制度であります。

②第二種

種目別運動競技団体および高校、大学、官公庁、民間会社の運動クラブ、グループ等でアマチュアスポーツを行うことを目的とする団体

特に近年スポーツ活動が益々盛んになってきておりますが、反面スポーツ中のケガも非常に多く発生しており、ケガによる家庭生活への影響等も少なくありません。

そこでスポーツ愛好者は一人でも多くの保険に加入し安心してスポーツ等を楽しめるようにしたいものです

【保険の種類】

①第一種

▲幼稚園、小中学校、養護学校の児童生徒により構成され、自主的な活動を行うことを目的とした団体(スポーツ少年団、子供会、スイミングクラブ)

【保険金額】

被保険者一名につき一口五〇万円、二口一〇〇万円

▲死亡保険金

被害の日から一八〇日以内にその傷害がもとで死亡したときは保険金額の一〇〇%

▲後遺障害保険金

被害の日から一八〇日以内にその傷害がもとで

後遺障害が生じたときはその程度によって保険金額の三〇%〜一〇〇%

▲医療保険金

第一種は治療日数七日以上、第二種は十四日以上、第三種は治療日数一日につき五百円。但し、百八十日を限度とする。

【保険期間】

自昭和五〇年四月一日至昭和五一年三月三十一日

【加入受付】

昭和五〇年七月三十一日まで公民館で受付しております

有意義でした

青少年海外派遣報告会

青少年育成事業の一環として、広く海外の知識を身につけて多くの青少年を海外に派遣させようという趣旨のもと



発表後質問に答える
海外派遣者たち

に総理府並びに県において主催した昭和四十九年度海外派遣事業に当町から吉岡孝雄君前司恵津子さんの二名を派遣したが、その海外派遣報告会を一月十二日大熊町公民館で開催した。

当日は原千力の安全性でアメリカに派遣された吉田議長も出席し、諸外国に学ぶことなどについて話されたが、海外の様子を聞くことと云うことで青少年を初め町民約五十余名が出席し、終始熱心に耳を傾けた。

特に海外派遣者からは精神面で外国人(ドイツ人)に見習うべきものが数多くあるという熱のこもった報告もあり有意義な報告会でした。

種別	一口の二口の場合	一口の場合
第一種	二〇〇円	一〇〇円
第二種	二、三〇〇円	一、一〇〇円
第三種	二、三〇〇円	一、一〇〇円
カ	八五〇円	四二五円
ク	八五〇円	四二五円
コ	八五〇円	四二五円

ドライバーの皆さんへ

新入学児童と園児を
交通事故から守りましょう!

学級生募集

山野の春光いよいよのどかになり皆様には何かとお忙しい毎日のことと思います。さて公民館では左記により学級生を募集しています。お気軽にご参加下さい。

◆青年学級

一般教養・研修・仲間づくり等年間を通して学習し、青春を悔いなきものとする。対象はおおむね24才までの男女とする。

◆婦人学級

変動する社会に対応できるような家庭婦人を目差す月一回の学習です。対象は婦人一般です

◆高令者大学

高令者にふさわしい社会的能力を高めるために皆で楽しく学習をし長生きをしましょう。対象はおおむね65才以上の男女とし、年間40時間の学習をする。

◆料理講座

季節季節にあつたすぐに役立つメニューです。毎月一回実施します。入講金は一人千円で一回につき二百円の手当料を要します。

※申し込みは四月十五日まで住所・氏名・年令・所属学級を大熊町公民館へ御連絡下さい。

文化財保護

民俗資料の収集に

ご協力下さい

生活文化の変遷を資料として残し、貴重な生活体験の中から新しい生活文化の創造と社会生活の進展に役立てようとするものとして、旧大熊町公民館を民俗資料館として整備し、児童生徒の社会科学学習はもとより町民の皆さんの閲覧に供しようということになりました。

現在公民館において次のような民俗資料の調査と寄贈者を募っております。

町民皆さんの絶大なご協力をお願い致します。

尚資料は次のようなもので、すので最寄りの文化財調査委員(松本幸一、下、志賀隆宣、大川原一、太田四朗、町区、永岡重雄、大和久、中野頼友、夫沢二)又は大熊町公民館へ電話等で連絡いただけば係員が参上いたします。

【衣・食・住】

- ・かぶりもの
- ・すきん、かさ、ぼうし等
- ・着物類
- ・たすき、はんでん等
- ・前掛、袴類
- ・ももひき、帯、はばき、きやはん等

【農 耕 具】

- ・耕作用具
- ・種入、田植綱、がじ、鍬
- ・鋤、苗籠等
- ・収穫、調整用具
- ・鎌、せんばごき、唐杓、箕、石うす、うす、きね等
- ・漁撈 その他
- ・漁撈用具
- ・ガラス箱、ヤス、ふで、どう等

【畜産飼育用具】

- ・狩猟用具
- ・おとり笛、わな等
- ・養蚕飼育用具
- ・えびら、アミ、桑摘用具、収穫、処理用具
- ・畜産飼育用具
- ・手綱、くつわ、まぐさ桶
- ・手工
- ・わり細工、竹細工、板細工等
- ・運搬具
- ・背中当、やせうま、荷なわ、もっこ、てんびん棒等
- ・通信用具
- ・ほら貝、拍子木、文箱等
- ・商業用具
- ・帳簿、財布、通帳等
- ・証書、手形、藩札類
- ・証文、切手、貨幣、紙幣
- ・防災用具
- ・消防道具、火消っぽ等
- その他数多くありますが、昔使用されたものは何んでも結構です。



熊の町の地は早くから開けたところで、奈良朝の御代に浜海道を官道として整備した時に、日熊野の駅を置いたのもこの附近だったろうと云われています。

封建時代になってからも、関門が設けられ熊川宿、または熊駅とよばれていました。むかし、この附近に勤廻な老夫婦がすんでいました。夫婦のあいだにはなせか子どもが生まれませんでしたので、齢老いても野良仕事にはげんでいました。

民話 はなどり地藏

野山の若葉が日増しに緑をまして田植えも間近い五月のあの日のでした。

老夫婦は朝早くから野良に出で二人仲良く荒たかきをしていました。お爺さんがマンガを押し、お婆さんは泥田の中をころびながら泥まみれになって馬の鼻どりをしています。

かたむけていました。「お爺さん、困っているんだらう、僕が手伝ってあげていまして。お爺さんがマンガを、」いつの間、どこから来たのでしょうか。里には見えない、七、八才の子どもの二コニコと笑顔をみせて、田

腹痛のおさまったお婆さんが急いで田んぼに出て来ました。これを見た子どもは、フィと鼻どりをやめてスタスタと南の丘の方に歩き去ってしまいました。「今、七つか、八つ位の子どもに会わなかったかい。」とお爺さんがききました。

「誰にも会わなかった。」とお婆さんが答えました。「お爺さんは、お婆さんに、さっきからのことを話して「お婆さんよ、お前からあの子どもにお礼を云っておくれよ。」と云いましたので、お婆さんは急いで子どもの姿をさがして南の丘の地藏堂の森

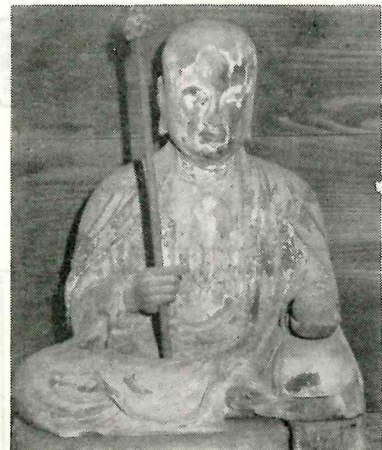
の畦にたっていました。あまりに小さな子どもなので、お爺さんが驚るき顔に、「お前さんは鼻どりをした事があるのかい。」と聞きますと、子どもは、「やった事はなけれど出来るよ。」と云いながら、ジャブジャブと田の中に入って馬にとりつきました。ところがどうしようもありません。馬はさも嬉しそうに子どもの鼻どりのままに、動きだしました。お爺さんはびっくりしながらも喜んで一生懸命にはたらきました。

で、仕事は大変にはかどりました。しばらくたって

腹痛のおさまったお婆さんが急いで田んぼに出て来ました。これを見た子どもは、フィと鼻どりをやめてスタスタと南の丘の方に歩き去ってしまいました。「今、七つか、八つ位の子どもに会わなかったかい。」とお爺さんがききました。

それからのち、里の人達は地藏様を、鼻どり地藏と呼んで崇めるようになりました。そして地藏様が化身して鼻どりを手助けした大字熊宇本町地内の田を地藏仏とよんで毎秋の祭り物を供えるようになりました。長い昭和の動乱が終わって、人々は神も仏も忘れ去ってしまいました。

地藏様も、里の子どもたちのお供をして熊川の川辺で水泳をする日が続いています。そしてまた丘の地藏堂に帰る事が出来ました。



熊町延命地藏

「誰にも会わなかった。」とお婆さんが答えました。「お爺さんは、お婆さんに、さっきからのことを話して「お婆さんよ、お前からあの子どもにお礼を云っておくれよ。」と云いましたので、お婆さんは急いで子どもの姿をさがして南の丘の地藏堂の森

みんなのひろば

公民館利用について

公民館を使用する場合は、予め申込みから通知を出して下さい。開館時間は次の通りです。

午前部	8時半～正午
午後部	1時～5時まで
夜間部	5時～9時まで

ドライバーのみなさんへ

青年会で愛の基金

駅前通りの交差点にも信号機がつき、喜ばしいことと思えます。しかし私を見る限り駅前周辺の交通混雑はいっこうに解消されておりません。

青年会で愛の基金

特に一般にいうラッシュニアワー時には目に余るものがあります。なぜこんなに混雑するのでしょうか。道路のせいもいせいもありましようが、私が見ている限り、道の両側に車をためておくのが最大の原因だと考えられます。

先日も目の前で事故を見ました。その事故も当然起るべくして起つた事故と思われます。道路がせまいうえに、車がとまっていたのでは混雑をきたすのが当然です。通り一帯は駐車禁止のはずです。どうかドライバーの皆様

を募集しています

会の目的

- 1 青年の仲間づくり
 - 2 社会奉仕活動
 - 3 青年の教養に関する学習
- ◇年令 三十才までの男女

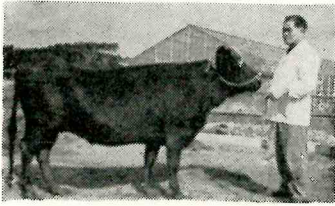
二十才の和牛

人間なら百才!

下野上の松本幸一さんの飼われていた和牛「ふくまつ号」が二十才の長寿を全うしてこの度川井畜産の手で極楽浄土にいった。

(一通行人)

この和牛は昭和二十二年十一月二日松本さん宅で生れた名牛で数多くの子牛(十二頭までは記憶がある)を生み、大熊町和牛発展の先覚牛として活躍していたが、ここ数年繁殖を切りあげ、かわいがられながら余生を送っていたが最近ちよつとした外傷を受けたのを機会に食肉資源として最後の御奉公をすることになった。



ふくまつ号と川井詮氏

松本さん夫妻は人も知る動物愛護家で、戦後真先に和牛多頭飼育を農業経営に取り入れた指導者でもあり、当地が今日福島県一の肉用牛生産地となった隠れた功労者である。(堀川)

露のとう

福祉大学卒業と同時に精薄施設の職員として勤務したひとりの男。

彼は脳性マヒなる障害者である。手足の動作は勿論話することさえままならない有様。しかし彼の社会への恩返しとしての職場は、この施設以外になかったのだと彼はいう。知恵の遅れた子どもたちの日常生活の世話をするなど施設内の生活指導に懸命であった。

残雪のまだ消えない寒い朝、勤務時間になってもパランスをとりながらトコトコと歩いてくる姿は見えない。「おはよう」と片言に交わすあいさつの声も聞えない、不思議と黒く重たい不安が私を包んだ。彼の部屋は中から錠がかけられ、数人であちこちたたいも開くところがない。不安とあせりの色がみんなの顔にみえる。

百人近くの子どもたちがめいめいにさき、泣き叫び、私は色紙に露のとうの墨絵

施設内は朝食前のひと時で戦争のようである。しかしこの小部屋だけは冷たく静かで、この施設とはまるで別世界である。その中に体の不自由なひとりの男が静かにコンコンと眠り続けていた。ベットの片側には、たどたどしく言葉少なに書いた遺書と横文字で書かれたラベルのはってある。空びんが転がっていた。

彼はなぜ死の道を選んだか。彼にはこの道以外に進むところはないのか。彼は十数時間後病院のベットの上で空虚に目を開いた。そして二度と見ることもなかったはずのこの増悪一色で塗りつぶされた世を見た。

彼をこの道へと追いやったのは果して何であろうか。それは自分の親も同然の女性に思いを寄せた小さな愛である。夢のようにきれいだである。愛のかけにこの死への道が続いていた。今にして彼は語る。「不自由者であるが故にこの不幸な道を選ばざるを得なかったのだ」と。

俳句

漬物俵つしりと並び秋日秋
子等のみな待ちある今年米送る
中山 安子

庭の石ぬれて光れり冬の雨
菊の香に首長当選の大産曆
志賀 セツ

風の掃く雲とてなかり柿日和
シクラメン祝ぎごとこの日重なり
佐久間 信子

夜勤明け枯葉まふしむ舗装道
予防注射受けて冬日をまぶしみぬ
中山 貞夫

スキー担ぐ群の若さに近づけず
焚火せし人ははなれて働ける
渡辺 政美

を描き「純熱勇敢」と書いて彼のもとに送り届けた。多くの人に泥靴で踏まれた硬い土の上に、石ころだらけの堤にかたいかたいいばらの中に、まるまる太った姿をコロコロと視つす露のとうを。

その後彼は自閉状態となり年老いた母の世話をうけ、数年を送った。私が彼を訪れたのは、翌年のまだ山に雪が残っている頃。そして露のとうが顔を見せ始めた頃であった。

永井

もどで励まし続けていたのだ。彼は立ちあがり数歩たたどしく歩くことができた。私はそれを見た。とうてい見ることはできないであろうと。悲しい思いで彼のもとへ向ったのであったが、はつきりとしたのである。

それから三年後彼は数人の中学生を相手に学習塾を開いている。彼の夢はちっぽけで、太陽の光の常に輝いている精薄施設の父となることであるとか。

こども

長寿と幸福を願って

一月の館報で吉田教育長は、教育についての詳細に述べておられるが、若い親達は果してこどもの教育をどう考えておられるのだろうか？

古いとか、スパルタだとか、修身的だとか云はれるのをおそれては、大切な自分のこどもを立派に育てることができない。なぜ立派に育てようとするのか、それはこどもの幸福のためである。

きた時には必ず礼儀正しく挨拶させる

七、模範児童に育てるためには、古事伝の二宮尊徳先生の話をすべきか、優秀な古人の道徳をもって教育することが大切である。

現代なテレビ番組や映画の中で、不適當と思われるものは絶対に見せぬようにし、親の日夜の行動等も常にこどもの将来の事を考えて立振舞う事が一番大切である。

二、敬老の日や、家族の誕生日には必ず「おめでとうございませう」と挨拶させる

三、食事の時には必ず父母や年上の者が箸をつけてから「いただきます」といって食事を始めさせ、食事が終われば必ず「御馳走様」と挨拶させる

四、幼稚園に行くとか、その他の外出の場合には必ず父母に挨拶させる

五、父母や年上の者が病気で寝ているときは必ず床の前に行ってお見舞いさせる

潔を保つことが大切である。更に体育会、競技会等は海水浴又はプールにおける水泳等にも出来るだけ参加して、健康に育てる事は長寿の基礎であり、家庭円満にもなることなのだ。

(井戸川)

心の持ち方

ある日、お茶のみ話をしてるうちに、自己の修養めいたことに話はずみ有意義であった話のつかずかずに、夕ぐれまで時のたつのも忘れた程だった。

その一つは、心のひろい円満な人格の持ち主になりたいものだということだった。

肉用牛経営で

小林一男君 優良賞

去る三月七日北海道旭川市で全国肉用牛協会主催の経営コンクール(第四回農業祭)の多角経営を行っている。

小林君は畜産、米作、養蚕が加行われた。福島県代表として発表された小林一男君(野上)は見事優良賞を獲得された。



右が小林一男君

してある方はこんなことを話された。ささいなことでも相手がカッカと嘖り興奮して怒っている時、自分もその言葉にカッとなり、売りこぼしに買いかぶることは長期にわたってひどいことを投げ返すようでは、小さなことでも大きなけんかになり、ますます相手を怒らせるだけ、それを反対に冷静に受けとめ、場合によっては言いたいこともじっとこらえだましていることも効果がある。こんなふうになれ

果がある。こんなふうになれ果がある。こんなふうになれる人は、よほど心のひろい修養をつんだ人であろう。そしておだやかな口調で相手を傷つけぬような言い方をしたものだ。……

また結果や仕上がりも大切であるが、その結果を生むまじいものだと。……

大川原一主婦

嫁と姑

よく家の嫁は、家の姑は、と聞か、これは、一ヶ月や二ヶ月の付き合いでない限り良い日もあり悪い日もある。お天気だって、晴天も嵐もある

に、育った所も職業も違つた人が集まり、母と呼び嫁となつて一家に暮らすには、な



みなみならぬ忍耐が、必要である。終戦後30年……今では年寄りの嘆きの方が多く聞かされ、別居生活だとか、養老院行きとか、嫁には、嫁の言い分、姑には姑の言い分があり、対立始めたら、きりがな

いと思う。だが年寄りは家のために働き守ってきた人、先のない事を頭において、いたわり、嫁を娘と思つて暮らしてほしい。二月十九日の新聞にある記事を読んで、私は、感動した。五十三才になる方で三十三年間、姑と一度も口もみ合つた事はなく、母を一月亡くした。五人姉がいて六

番目に嫁いで以来、戦前戦後の、厳しい中を、姑は良く面倒を見、教えて下され過ぎたとか。今では、亡き母の仏前へ話かけ、すわる日が多いと書かれ、これからは、亡き母を見習い、自分も良き姑になろうという心がけであった

この家庭は、姑さんが面倒みたりばかりでなく、この嫁さんたばかりでなく、この嫁さんとも、随分と努力された方だと思われた。私も、この大正生れの方と同じ気持を持って生きて行きたい。(主婦)